

# 時代の証言者

国民学校初等科を卒業した私は、1945年4月、東京都立北豊島工業学校(現・北豊島工業高校)に進みます。その教頭先生が、私たちが住み込んだ弁護士事務所の所長の弟だったのです。縁故入学というやつです。5月の空襲で焼け出された私たち一家は、世田谷区千歳烏山に転居しました。学校がある東武東上線中板橋駅まで1時間以上かかりました。新宿などは、空襲で真っ黒に焼け焦

## 就職難 競馬場で用心棒

4

矢達

代仲

### 役者の条件

げた死体が何十体も転がったままになっていました。8月15日の玉音放送は、校庭で聞きました。セミがうるさく鳴いていた暑い日でした。軍国教育を受けた私たちは、「鬼畜米英」「出てこいニミッツ、マッカーサー」と頭から信じ込んで叫んでいた。だから、戦後になって突如として親米派になった大人たちには強烈な不信感がありました。弁護士事務所の所長からの生活費も滞るようになってはいけない。戦地から戻ってきた伯父と、弟と一緒に、ボンボン菓子を作る仕事を始めます。コメに圧力をかけてはじけさせるのです。1軒ずつ訪ねて注文をとり、預かったコメを加工しました。笑顔で話す弟は誰からもかわいがられ、たくさん注文を取ってくる。無愛想なる。私には全然だめで、もっぱら製造係でした。それで何とか食いつなぎました。



千歳高校夜間部の教室で(手前右が仲代さん)

工業学校を出たら働こうと思ったのですが、姉から「高校だけは出た方が良い」と勧められたのです。

▲連合国軍総司令部(GHQ)占領下の47年に学制改革が行われ、それまでの国民学校、旧制中学、実業学校、高等女学校、旧制高校などが、小学校、中学校、高校、大学の6・3・3・4制に再編された。新制高校は48年に設置された▼

高校ではバスケットボールに夢中になりました。幼いころはクラスで2番目くらいに体が小さく、いじめられてばかりいた。それがバスケットのためでしょう。高校時代にぐんと伸びて178センチになりました。昼間は小学校でお茶くみやガリ版刷りといった雑用係をしていましたが、やがて大井競馬場で働き始めます。免許を持っていない闇の予想屋の取り締まりでした。卒業も近づき、職業を考えなくてはいいけない。だが大変な就職難時代でもやれる仕事って何だろう、と考えました。

(編集委員 福永聖一)

学制が新制に変わり、私は都立千歳高校(現・芦花高校)夜間部に入ります。